

＜座布団の使い方＞

① 座布団の置き方とマナー

座布団には、前と後、表と裏があります。縫い目のないほうが前で、中心に縫い付けられている糸の房があるほうが、表です。表にも裏にも房がある場合、縫い目がかぶさって見える方が表です。また、カバーがしてある場合には、ファスナーがあるほうが後ろです。お客様に座布団を用意するときは、気をつけて置くようにしましょう。



座布団には用意してくれた人の心が込められていますから、足で踏むのは失礼になります。また、招かれた家で座布団に座る時は、いきなり真ん中に座るのではなく、まず座布団の横に座り、相手にすすめられてから座布団に座りなおすのが正しいマナーです。座布団に移るときは正座の姿勢から両手を軽く握って座布団について体を支え、膝を座布団の上に滑らせます。

立っている時は、背筋を伸ばして軽く握った両手を太ももの上に乗せる。そして座る時は、片足を半歩後ろに引いてそのままゆっくり座り、ひざをつく。残りのひざを滑らせるようにして両膝を揃えて静かに座る。両手は、軽く握って、太ももの上に戻す。立ち上がる時は、後ろか横に少しにじって、つま先を畳につけてからかかとを立てて、その上にお尻をのせます。次に、片膝を少し立ててから、片足ずつ立ち上がります。

